

学園祭間近、家庭科室周辺から聞こえる様々な楽器の音色に興奮！

303が取り組んでいる「吹奏楽」の練習風景を覗いてきました。ほぼ全員が初心者ということですが、1週間で音が出ている、メロディやリズムをとっていてすごいですね！中学、高校時代名古屋市少年吹奏楽団でクラリネットやテナーサキソホンを吹いていた私は、久しぶりに見る楽器に興奮しました。ぴかぴかの金色に輝くテナーサクソや、うちの楽団にはなかったバスクラリネットも、保管状態が極めて良さそうです。これらを倉庫に眠らせておくのはいかにももったいない！竹口先生の執念も十分に理解できました。本校吹奏楽部の発展につながる1つのきっかけになると良いですね。当日を期待しています。

専攻科2年生「教育学」の授業では生徒の発表が毎回続いています

今年の2年生は33人いるので、毎回2時間目に3人ずつ発表があります。(学校)教育に関連すればテーマは自由で、3分間の発表と質疑・応答7分で約10分の持ち時間です。

これまでの発表テーマは以下の通りです。 * 参観自由です。生徒の発表を励ましに来てください。

9/12「体操女子体罰問題」「チーム内でのコミュニケーションについて」「家庭での虐待について」

9/14「ブラック校則」「心理的虐待」「養護学校」

9/19「いじめとは」「給食の完食指導」

9/21「フィンランドの教育」「子供たちの声を聞いて」「過保護のカホコ」

9/26「小学校の置き勉」「奨学金破産について」「掃除教育について」

実に多様なテーマで、私の「ひきだし」だけでする授業よりはるかに視野を広げてくれます。この授業の目標は「自己の経験を相対化し、世界を広げながら自己の教育思想を深める」ですが、生徒の発表はこの目標の達成におおいに貢献してくれます。

発表内容は生徒自身の体験をふまえたものが多く、他の生徒の同じような体験を呼び起こし共感がうまれています。

みんなそれぞれ、似たようなことで傷ついているんだなということが分かって安心した。少しみんなに対して親近感が湧いた。同じ思いを共有すると、安心感を得られることが分かり、かなり驚いている。もう少し恐がらずに生活できたらいいと切に願っている。

* 自己の教育経験で「嬉しかった事」「嫌だった事」をグループで交流した授業の感想より

嬉しかったこととして、ほめられたり、ごほうびがもらえたり、一緒に先生が頑張ってくれたりと自分のことを思ってくれていることが分かる内容が多いなと思った。嫌だったこととしては、怒られたことや、不平等があったこと、疑われたことなど自分のことをきちんと思ってくれているのか分からない内容が多いなと思った。広場型GWを通して、共感できる経験やおどろく経験などいろいろなみんなの経験をきくことができておもしろかった。 * 同上

「奨学金破産について」の発表をしたのはKさん。保育士になる夢をかなえるべく奨学金を借りて大学に進学し、保育士になった女性が数百万円の奨学金を返済できず自己破産した例を紹介しました。諸外国に比べて教育予算のGNP比が低いことをあげ、教育費負担の軽減をすべきだと発表しました。そして結びの言葉は「だから署名をがんばって集めましょう」でした。Kさんに拍手！

